

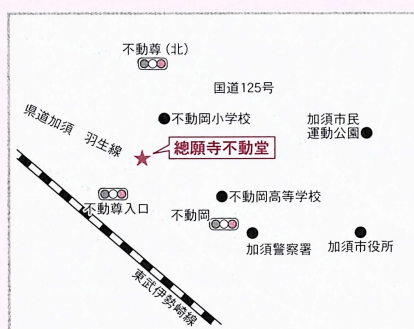
「ご存じですか！文化財」

市指定有形文化財
昭和52年6月9日指定

3



問合せ
生涯学習課
(☎内線352)



所在地 不動岡2-9-18
総願寺所有

さんの熱い思いを得て、たびたび本堂の営繕・改修が重ねられたと記録されています。

現在、「平成の大改修」として、5年にわたる修繕計画が進められています。第一期は山門改修工事、第二期は参籠堂改修工事を行い、平成21年9月には参籠堂完成記念法要として、不動明王開眼と信徒の方を集めての宵月コンサートが営まれました。

遠い昔から、地域の皆さんをはじめとする多くの方々の思いを集め、また思いに支えられてきた総願寺の不動堂を、皆さんもぜひご覧ください。



紹介者 高橋 剛久さん(不動岡2)

今回ご紹介する文化財は、不動岡地内にある「総願寺不動堂」です。本寺は、山号を玉嶺山、寺号を総願寺と称し、関東三十六不動霊場巡拝の第30番になっています。その本堂である不動堂は、入母屋造り、銅板葺きで、桁行五間(約9メートル)、梁間五間の市内を代表する寺院建築です。

本寺にある「不動明王像」は、天台宗の高僧・智證大師円珍の作とされ、約1,100年前、数奇な運命を経てご本尊となったと伝えられています。その後、歴代の住職ならびに壇信徒の皆